

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

農水省 2013 年 漁業・養殖業生産統計発表

農水省は 4 月 24 日に 2013 年の漁業・養殖業生産統計を発表した。それによると、2013 年の我が国の総生産量は 479 万 1,000 トンで、前年に比べ 1.5% (7 万 3,000 トン) 減少した。

このうち海面漁業の漁獲量は 372 万 7,000 トンで 0.8% (3 万 900 トン) 減少した。一方で、東北における漁獲量は岩手県が 11 万 900 トンで 7.4% (7,600 トン) 増、宮城県が 17 万 2,300 トンで 12.8% (1 万 9,500 トン) 増とそれぞれ増加した。また福島県の漁獲量は 4 万 5,300 トンで、同県沖以外の海域で漁獲量が増加したことから 6.8% (2,900 トン) 増加した。

カツオは高知県、鹿児島県等で増加したものの、東京都、新潟県等で減少し、0.8% (2,400 トン) 減の 28 万 6,800 トン。カタクチイワシは愛知県、愛媛県等で増加したものの、千葉県、北海道等で減少し、ほぼ前年と同数の 24 万 4,900 トン。マイワシは三重県、大阪府等で減少したものの、島根県、茨城県等で増加し、72.1% (9 万 8,300 トン) 増の 23 万 4,700 トンとなった。

海面養殖業の収穫量は 100 万 2,200 トンで 3.6% (3 万 7,300 トン) 減少し

た。東北における収穫量は岩手県で 3 万 2,500 トン、宮城県の収穫量は 6 万 2,800 トンで、それぞれ 38.3% (9,000 トン)、45.7% (1 万 9,700 トン) 増加した。

魚類養殖は 2.8% (6,900 トン) 減の 24 万 3,600 トンで、うちブリ養殖は愛媛県等で減少したため 5.9% (9,400 トン) 減の 15 万 800 トン。マダイは熊本県、高知県等で減少し 0.2% (100 トン) 減の 5 万 6,600 トン。貝類養殖では 2.9% (1 万 100 トン) 減の 33 万 5,800 トンで、うちカキ類 (殻付) は 3.9% (6,300 トン) 増の 16 万 7,400 トン。海藻類養殖は 4.7% (2 万 600 トン) 減の 42 万 200 トンで、うちノリ類は兵庫県、熊本県等で減少し 6.9% (2 万 3,600 トン) 減の 31 万 8,000 トンとなった。

なお詳細は下記の農林水産省のホームページ中の統計情報で閲覧可能。

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>

国産水産物流通促進センター 目詰まり解消プロジェクト 第2次募集開始

国産水産物流通促進センターが行っている、「流通促進取組支援事業」による目詰まり解消プロジェクトの第 2 次募集が開始された。水産物流通における

目詰まりとは、「水揚げ量の変動が大きい」、「多種類で大小の魚が水揚げされる」、「鮮度劣化が激しい」などの水産物の特徴を反映した流通が十分でなく、水揚げされた水産物が定量・定質等の実需者ニーズに合わず流通に乗らない、流通しても「食べやすさ」、「鮮度」などが消費者ニーズに合わず十分な量が消費されない、若しくは価値に見合った価格がつかないなどが挙げられる。

国産水産物流通促進センターはこの目詰まりを解消すべく様々な事業を行っており、今程開始された事業もそのうちのひとつ。この事業は、目詰まり解消のための新規性、先進性のあるプロジェクトを公募し、審査の上、事業者を選定し、選定された事業者が実施する目詰まり解消の取組に対して、機器導入や原魚の保管・運送経費等を支援するもの。応募には、事前にセンターが実施する流通の各段階への指導または品質管理専門家による指導を受ける必要がある。

この事業に応募されたい方は申請書に必要事項を記入し、国産水産物流通促進センターまで。また、詳細、申請書のダウンロード等は下記ホームページへ。

<http://suisan-portal.jp/project/>

提出先：国産水産物流通促進センター
(原則、郵送または宅配にて提出)

提出期限：平成 26 年 7 月 18 日 (金)
午後 5 時まで

JFブランド「わかしお石けん」 取扱40周年

全漁連が有害合成洗剤追放運動展開を決議し、漁協系統ブランドの天然石けんとして「わかしお石けん」の取扱を開始してから来年度で40周年を迎える。

それに合わせて全漁連は、各JF女性連(部)総会・研修会など各種行事において講習会等を開催する予定。

天然石鹸わかしおは、海環境に配慮した成分で作られているだけでなく、「蛍光増白剤を使って見た目だけきれいにするのではなく、本当の意味で汚れが落ちる」との声も聞こえ、高い評価を受けているようだ。

40周年を迎えたこの機会に、今一度普段使っている石鹸や洗剤を見直してみては？



「わかしお」洗濯用粉せっけんと液体石けん

【主な予定】

○5月24日(土)

松阪あさり祭り

○5月27日(火)

第57回三重県漁協女性部連合会通常総会

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。